

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【公開番号】特開2006-39510(P2006-39510A)  
 【公開日】平成18年2月9日(2006.2.9)  
 【年通号数】公開・登録公報2006-006  
 【出願番号】特願2005-139926(P2005-139926)  
 【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/28 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 H

G 0 9 G 3/20 6 1 2 U

G 0 9 G 3/20 6 2 1 A

G 0 9 G 3/20 6 3 1 V

G 0 9 G 3/20 6 4 1 E

G 0 9 G 3/20 6 4 1 R

G 0 9 G 3/20 6 6 0 V

G 0 9 G 3/28 H

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】半導体表示装置の駆動方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1 フレーム期間に複数のサブフレーム期間が含まれるように駆動し、  
 フレーム周波数により定められた共有率  $R_{s_h}$  に従い、サブフレーム率  $R_{s_f}$  を算出し、  
 前記サブフレーム率  $R_{s_f}$  を満たすように、階調2以上の各階調における前記複数のサブフレーム期間の数及び長さ、前記複数のサブフレーム期間のうち発光の状態となるサブフレーム期間とが定められていることを特徴とする半導体表示装置の駆動方法。

【請求項2】

1 フレーム期間に複数のサブフレーム期間が含まれるように駆動し、  
 フレーム周波数により定められた共有率  $R_{s_h}$  に従い、サブフレーム率  $R_{s_f}$  を算出し、  
 前記サブフレーム率  $R_{s_f}$  を満たすように、階調2以上の各階調における前記複数のサブフレーム期間の数及び長さ、前記複数のサブフレーム期間のうち発光の状態となるサブフレーム期間とが定められており、

前記サブフレーム率  $R_{S_F}$  と、前記共有率  $R_{S_h}$  とは、 $R_{S_F} = (1 - R_{S_h}) / (2 - R_{S_h})$  を満たすことを特徴とする半導体表示装置の駆動方法。

【請求項 3】

1 フレーム期間に複数のサブフレーム期間が含まれるように駆動し、  
フレーム周波数により定められた共有率  $R_{S_h}$  に従い、サブフレーム率  $R_{S_F}$  を算出し、三等分された総階調数のうち、中間の階調と、最も高い側の階調の各階調が前記サブフレーム率  $R_{S_F}$  を満たすように、前記複数のサブフレーム期間の数及び長さ、前記複数のサブフレーム期間のうち発光の状態となるサブフレーム期間とが定められていることを特徴とする半導体表示装置の駆動方法。

【請求項 4】

1 フレーム期間に複数のサブフレーム期間が含まれるように駆動し、  
フレーム周波数により定められた共有率  $R_{S_h}$  に従い、サブフレーム率  $R_{S_F}$  を算出し、三等分された総階調数のうち、中間の階調と、最も高い側の階調の各階調が前記サブフレーム率  $R_{S_F}$  を満たすように、前記複数のサブフレーム期間の数及び長さ、前記複数のサブフレーム期間のうち発光の状態となるサブフレーム期間とが定められており、  
前記サブフレーム率  $R_{S_F}$  と、前記共有率  $R_{S_h}$  とは、 $R_{S_F} = (1 - R_{S_h}) / (2 - R_{S_h})$  を満たすことを特徴とする半導体表示装置の駆動方法。